

様似郷土館

「郷土学～様似の海を知る～」における プロタイプトランクキットの新規開発と運営

実施期間：平成30年8月20日（月）～平成31年3月31日（日）



【事業の内容・目的】

- 様似町の海に関して学ぶことができるように学校と連携・協働しながら、プロタイプトランクキットの製作とそれらを活用した教育プログラムの構築を目的としました。
- 様似町の海について学ぶことができるようツールとして、海の生き物、地元産業、考古学、ジオパークなど、郷土の海の学習に関連した4つのテーマのトランクキットを作成しました。
- 地元の小学校、中学校と連携・協働して、このキットを活用したプログラムを構築し、実際に運営したなかで判明した改善点を洗い出し、改良をおこないました。これにより、今後は当館での活用にとどまらず、近隣の学校・他施設においても本トランクキットを活用した、地域の海の継続的な学習機会創出のための第一歩となりました。

活動の様子

1. トランクキット（プロトタイプ）の新規開発

【開催日時】平成30年8月20日（月）～平成31年3月31日（火）

【開催場所】様似郷土館

【参加者数】3人

【活動内容・目的】

- 減少している地元の海について学ぶ機会、そして実際に海にいるモノに触れる機会を有意義なものとしていくためのより簡単にそして実際に海にいるモノに触れる機会を有意義なものとしていくための『ツール』を整備することにより、短時間であっても地元の海を感じ、理解できるようなプログラム開発を目的としてトランクキットのプロトタイプを開発しました。
- 当館だけでなく地域の学校や他施設等でも様似町の海に関して学ぶことができるアウトリーチツールとして、海の生き物、地元産業、考古学、ジオパークなど、郷土に深く関係し、総合的な学習で学んでいる内容に即した4種類のテーマについてのトランクキットを小中学校、図書館、ジオパーク担当者との協働により製作しました。





小中学校、図書館、ジオパーク担当とでトランクキットの内容物を協議し、その内容に基づき学芸員と専門業者が打ち合わせを重ねて、トランクキット 4種類「①様似と海」、「②遺跡と海」、「③海を守ること」、「④ジオパークと海」を製作した。

「①様似と海」では、様似の漁業について学習できるようウニやエソボラの標本を作成した。

「②遺跡と海」では、町内遺跡と海の繋がりについて学習できるよう遺跡から出土したウニや魚の骨、魚の現生標本、遺跡から出土した漁具のレプリカを同梱した。

「③海を守ること」では、海の環境問題について学習できるよう実際の漂着物を同梱した。

「④ジオパークと海」では、海と大地の繋がりを学習できるように、アンモナイトなどを同梱した。

また、海とジオパークの繋がりが効果的にわかる模型や森と海の繋がりと海のゴミ問題を子どもたちが考えながら学習できるマグネットボードを作成した。

2. トランクキット学習プログラムの構築

【開催日時】平成30年10月17日（水）～平成31年3月12日（火）

【開催場所】様似小学校 校長室

【参加者数】6人

【活動内容・目的】

- 今後の小中学校における運営を視野に入れ、子どもたちが地元の海を身近に感じながら学ぶことができる学習プログラム（ワークシート、活用マニュアル等含む）を構築しました。
- 運営を行いながら学習プログラムを改善することで、より効果的な海の学びを展開できるようにしました。
- 学校等と連携して、このキットを活用したプログラムを構築することにより、学校の授業の中での活用が見込めるとともに、トランクキット利用者が誰でも学校指導者と同レベルの授業を実施することが可能とし、地域住民が地域の海について学ぶ機会を増やせるようにしました。

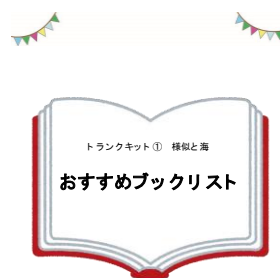


小中学校の教諭と学芸員、図書館司書、シオパーク担当が連携し、内容物とプログラムを構築し、小学生でのわかりやすい内容、また、誰でも教えることができる内容とした。また、プログラムを紙媒体とデータ媒体の両方を同梱することで、野外や電子黒板での授業に対応できるようにした。

さらに、図書館と連携しトランクキットに合わせた図書と同梱や教員や子どもたちの深い学びのために関連図書リストやそれらの目次検索データも合わせて同梱させた。

海の学びミュージアムサポート
Supported by THE NIPPON FOUNDATION

本トランクキットは、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」の助成を受けて製作いたしました。

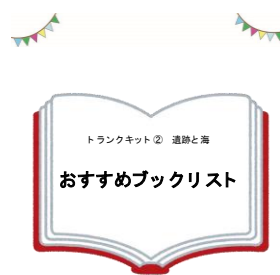


2019年3月 町立様似図書館 作成
1冊



海の学びミュージアムサポート
Supported by THE NIPPON FOUNDATION

本トランクキットは、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」の助成を受けて製作いたしました。

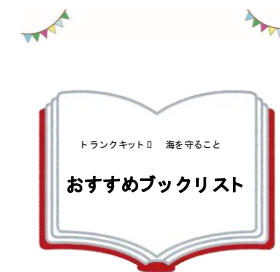


2019年3月 町立様似図書館 作成
1冊



海の学びミュージアムサポート
Supported by THE NIPPON FOUNDATION

本トランクキットは、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」の助成を受けて製作いたしました。



2019年3月 町立様似図書館 作成
1冊

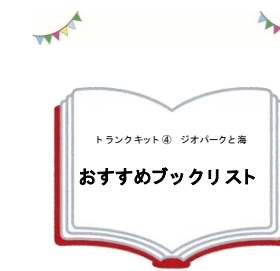


どうして海にゴミが落ちて
いるのかな？



海の学びミュージアムサポート
Supported by THE NIPPON FOUNDATION

本トランクキットは、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」の助成を受けて製作いたしました。



2019年3月 町立様似図書館 作成
1冊



※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。

3. トランクキットの運営

【開催日時】平成30年10月28日、平成31年1月10日

【開催場所】北海道博物館、放課後児童施設「ひ・ま・わ・り」

【参加者数】計167人

【活動内容・目的】

- 普段は実物を目にすることが少ない生き物等や地元の海のしくみなどについて、開発したトランクキットを活用した体験学習を通じて、身近に海を感じながら学ぶことができる機会となりました。
- 大人向け事業での運用を通して、広く町民が地元の海について知る機会を提供できました。
- チラシを通して興味関心のある団体・施設への利活用により、学校だけではなく、より幅広い年齢層を対象にすることで、地域住民が地域の海について知る機会を創出することができました。





トランクキット制作中に実際にトランクキット を試験的に運用することで、改良・改善しながら展開していった。

トランクキットにより普段は実物を目にすることが少ない生き物等や地元の海のしくみなどについて身近に感じながら学ぶことができた。さらに、資料を触ることで自分たちの海での経験を話すきっかけづくりにもなり、対話による深い学習や資料の観察ができた。

今後は、さらにトランクキット の利用を進め、さらなる同梱物の改良・改善、追加を行なっていき、より良いトランクキットの運用を進めました。

【参加者の声】

- イルカの住める海がいいと思いました。
- みんなでゴミをなくすことを学びました。
- 海のゴミを見て、キレイにしなければと思いました。

【事業全体のまとめ】

- ・海とふれあう機会が減少している子ども達が実際の海の生き物について簡単に触れ、親しむ機会が提供できるようになった。
- ・本トランクキットを活用することにより海の生き物や地元産業、考古学、ジオパークといった地域と海との密接な関わりについて視覚的・触覚的に理解することが可能となり、これらを通じて、様似町にとって『海』というものが、地域とどういった関わりを持っているのかを子ども達にわかりやすく伝え、海の大切さや未来に引き継ぐ重要性などを実感し、地域学習や環境学習の一層の推進が期待できる。
- ・学校等と連携して、このキットを活用したプログラムを構築することにより、学校の授業の中での活用が見込めるとともに、トランクキット利用者が誰でも教員と同レベルの授業を実施することが可能となった。
- ・トランクキットの作成において郷土館、小中学校、図書館、ジオパークが連携することにより、郷土館資料を学校で活用し、図書館での深い学びに繋げ、実際にジオパークという大地・自然の『海』を知るといふ、地域全体での「郷土学」の学習に繋がる連携を作ることができた。

主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 町立様似小学校	同梱物の検討及び学習プログラムの構築
2. 町立様似中学校	同梱物の検討及び学習プログラムの構築
3. 町立様似図書館	同梱物の検討及びブックリストの構築
4. 様似町役場商工観光課ジオパーク推進係	同梱物の検討及び学習プログラムの構築、資料提供

主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. 様似町 HP	様似郷土館より「海のトランクキット」のご紹介 (平成31年4月26日掲載)
2. アポイ岳ジオパーク Facebook	「海のトランクキットが完成しました！」 (平成31年4月26日掲載)

以上